

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	栄養素に優れたガーデンハックルベリーを通して地域の活性化のための特産品づくり事業	
事業主体 (連絡先)	花とハーブの里ガーデンハックルベリー生産者の会 長野県北安曇郡池田町会染5508-1	
事業区分	産業振興、雇用拡大 (イ農業の振興と農山村づくり)	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	785,843円 (うち支援金:	614,000円)

事業内容

- 1 定期研修会
○講演会2回、①宮沢県議・中塚課長・②茶道教授、(宗和先生・宗妙先生)
○役員研修7回(役員会後)
- 2 保管用機械(冷凍庫)購入により完熟した実をむだにせずスムーズに収穫し、収納出来た。
- 3 成分分析の実施(資料貼付)
- 4 加工品試作(ジャム・ビネガー・ジュース)これらは北アルプス山麓ブランド商品に認定されました。



【目標・ねらい】

- ① 栽培範囲の拡大
- ② 魅力ある新商品の開発
- ③ ふる里納税返礼品の拡大
- ④ 販売を全国へ拡大

事業効果

※ガーデンハックルベリーを活用した酵素・ジャム・ビネガー等の自家製品を活用している方々は、眼圧抑制・視力回復・眼精疲労解消・美肌・便秘の解消、特に目の健康維持に効果を見ており、地域住民に効果が浸透し、多くの方々が関心を持つようになった。

- 1, 摘み取り体験研修には16名の参加、大糸タイムスの取材も有り
- 2, 先進地視察研修
みすゞ館本舗飯島商店、丸子道の駅(あさつゆ)へバス1台(13名)
- 3, 試作品の、ジャム・ビネガー・ジュースが北アルプス山麓ブランド商品に認定されました。

※自己評価【 A 】

【理由】

- 酵素・ジャム、ビネガー作り体験学習が倍増した
- 収穫体験学習も多くの方の参加があった。
- 10年以上活用して効果を見ている方々が効果を報告する研修会を実施した。(2回)

今後の取り組み

ガーデンハックルベリーを地域特産品として安定品質・安定供給を体制の確立を図り、産地化を推進し、新しい商品を開発して多くの日本人が摂取可能にして日本人の眼の健康維持に貢献する。合わせて、池田町のふる里納税の返礼品に活用して頂けるような商品開発に力点を置き、池田町の増収にも寄与すると同時に生産者の所得の確保にも貢献する。また、消費者にも正確な情報提供によりファンやリピーターを確保する。

- 1、加工製品の開発、
 - ① 製品の開発・製品の完成
商品開発、商品パッケージの作成、ロゴの作成(試作商品シールの作成)
- 2、販売場所の拡大・PR
- 3、視察研修
 - ① 近隣の加工場や先進的に取り組んでいる道の駅等
- 4、市場調査 (販売店等で聞き取り調査)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある